

各国の消費者団体はG20の金融消費者保護への取組を歓迎する

イドラニ・スレイジンガム

CIアジア太平洋中東地域事務所（在クアラルンプール）

所長

G20サミットでは、各国の代表者は、次回サミットまでに取り組むべき金融消費者保護の必要性を認めた。115カ国220の消費者団体を代表し、消費者のための唯一独立系の世界的な運動の代弁者である、国際消費者機構（CI）は、G20の認識を歓迎している。しかしながら、消費者の利益を守るためになすべきことが数多く残されていることを警告する。今回のG20サミットは今年9月に韓国の首都ソウルで開催された。

G20は20カ国（19の国とEU）の財務大臣と中央銀行総裁で構成されている。政府代表や首脳は、国際金融システムに関する諸問題について協力し話し合うために2008年最初の会議を開催して以降、定期的に協議してきた。G20では、国際金融安定化の促進に関して政策問題を研究、調査し、議論を進め、また、一組織の責任を超える問題に取り組むことを求めている。

CIは、金融安定理事会（FSB）や経済協力開発機構（OECD）が世界中の消費者の視点を代表する組織と十分に協議することを望んでいる。今回のサミットでは金融消費者保護についての議論が含まれていたことを評価している。しかし、G20は、第一に消費者のことを考えているとリップサービスするのではなく、それ以上のことをしなければならないのである。CIとその加盟団体は、この分野では豊富な経験と専門知識を有しており、世界的な金融消費者保護に関して強力で効果的な助言をするために他の国際的な組織と協働することを期待している。

CIは、次回サミットに備えて、FSBに対して、OECDや他の国際的な機関と協力して、金融消費者保護を推進させるための取るべき手段を研究することを特に要求しており、FSBとOECDは、

次回G20サミットにはそれらを報告する義務を負っている。C Iはソウルサミットの行動計画を引用しているが、金融消費者保護を推進するには、情報開示、透明性や教育の問題、詐欺や不正使用やミスからの保護、遡及と支援を含む、情報提供された選択肢を通してなしうるのである。

O E C Dは、1961年に創設され、33カ国からなる国際経済機構であり、経済発展と世界貿易の活性化を目的としている。その定義は民主主義と市場経済に取り組む国々の公開討論の場であり、政策経験を比較する場を提供し、共通した問題に対する回答を見つけ、良い方法を見分け、加盟国の国内的・国際的な政策を調整することである。

C I加盟団体は、自国の政府に対して、消費者の利益を見過ごさないよう確認するためにロビー活動を行っていた。今回のG20の前日、30の消費者団体は、この問題を表したG20に対する公開状にサインをした。アジアと中東のC I加盟団体もこの文書にサインした。加盟団体は、オーストラリアや香港、インド、韓国やインドネシアを含むG20加盟国に本拠地を置いている。

今回の運動を支援した、日本の全国消費者団体連絡会（消団連）はC I加盟団体である。彼らは、菅直人総理や野田佳彦財務大臣に書簡を書き、G20サミットの場でより良い金融消費者保護をすすめることを要請した。また、インドでは、「消費者の統一と信頼のある社会」（C U T S）が他の消費者団体を集めて、国内で増加している消費者金融関連問題、特にクレジットや銀行問題に取り組むために団結して行動することを話し合っていた。

それ以前に、C Iは、2011年のG20サミットで報告する予定の、金融消費者保護を目的とする専門家集団の創設を強く望んでいた。これは、先進国や発展途上国の両方の消費者が、安定し、公平な、競争力のある金融サービスを受ける機会を保証するための第一歩である。この権利を確保することは、消費者のためだけでなく、

世界経済の継続した安定のためにも不可欠なものでもある。しかしこのような団体はまだ創設されていない。

しかしながら、今回のG20サミットの協議事項の多さと活動期間の比較的短かったことを考慮しても、C Iは、他の消費者団体ともに団結した努力はすでに成功したと考えている。なお、ソウルサミットの行動計画は次の内容を含んでいる。

消費者保護を進めるためには：

私たちは、F S Bに対して、O E C Dや他の国際的な組織とともに、金融消費者保護を推進させるために、情報公開、透明性、教育の問題、詐欺、不正使用やミスからの保護、遡及と支援を含む、情報提供された選択肢を通して取るべき手段を調査し、次回サミットまでに報告することを求めている。

消費者運動は、G20の首脳に対して、不正な金融サービスや企業活動から国民を守るために真剣に取り組むことを求めて声を上げ続けてきた。金融消費者保護の必要性が認識されてきたことがわかり勇気づけられる。

以上